

<相談支援事業所連絡会報告>

1、相談支援事業所連絡会

平成22年度後半は11月12日、12月10日、1月14日、2月9日、3月4日に実施。

講演会や研修の打ち合わせ、各部会の報告、連絡事項などを話し合いました。各部会からの報告では部会のメンバー以外から意見をもらうことで、部会運営の参考にしています。その他には各相談員が参加した研修の報告を行い、相談員のスキルアップに繋がっています。

2、障がい理解・普及啓発事業

平成20年度から障がい理解・普及啓発については相談支援事業所連絡会で取り組むことになり、以下のように計画や実施。

(1) チーム・メッセンジャーについて

9月2日 対象者：統合失調と診断された方の家族 37名

内 容：障がいを抱えながら生活することの大変さを当事者の視点から伝える

担 当：JHNまある

11月24日 対象者：坂下小学校 ふれあい教育セミナー 17名

内 容：発達障がいの理解（疑似体験をとおして）

担 当：あっとわん

2月2日 対象者：ピア・ステーション勝川の利用者・家族・職員 16名

内 容：発達障がいについての理解を深め、対応法やヒントについて知る

担 当：JHNまある

2月3日 対象者：中央台小学校 ふれあい教育セミナー 35名

内 容：不登校のメカニズムと対策

担 当：あっとわん

3月3日 対象者：ヘルパー事業所・関係機関職員 17名

内 容：相談支援事業所の役割を知ってもらうと共に、関係機関での横のつながりの必要性についての意見交換

担 当：全相談支援事業所

(2) 平成22年11月17日(水) 講演会の実施

「成年後見制度のしくみと活用方法

～制度の活用で得られるもの・守れるものは何か～」

講師：(社)成年後見センター・リーガルサポート愛知支部 支部長 松尾健史氏

会場：レディヤン春日井 3階 視聴覚・音楽室

参加者：72名

アンケート回収の感想より：アンケート回答53名

将来の参考になった、とてもわかりやすかったという意見が多かった。障がい者だけではなく、高齢者に対しても関心のある内容であったため、将来の参考にしたいという思いで参加された方もみえました。

3、住まいの課題について

平成22年度は12月22日、2月23日に話し合いを行いました。中部大学の関係者やボランティア団体の方にもメンバーに入っていただき、障がいのある人たちが安心して生活のできる住環境について話し合いをしています。公営住宅やボランティアの活用、先進的に取り組んでいるところの見学を予定しています。また、制度の枠に収めようとする制限されることあるため、活用できるものは福祉制度以外も視野に入れて考えるように努めています。